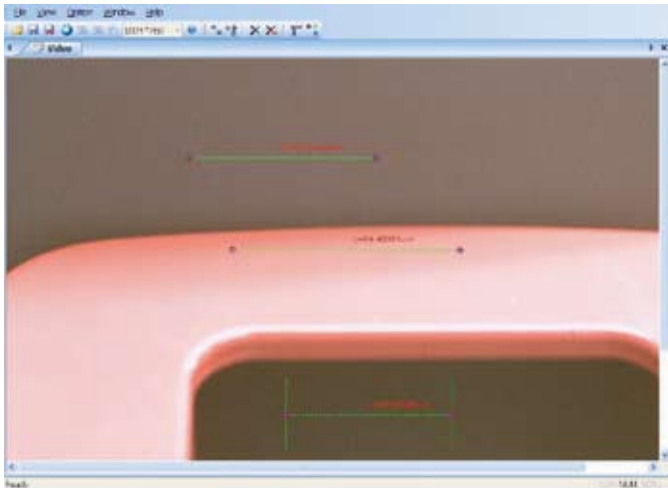


Measureソフトの使い方



【システム条件】

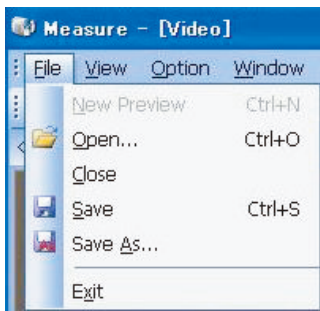
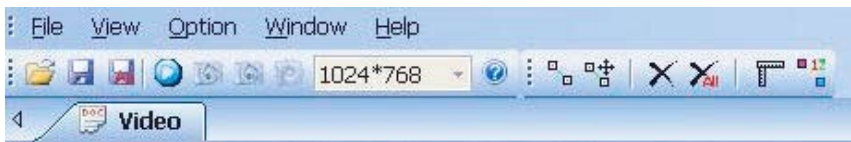
OS : WindowsXP SP1以降
Vista Home Basic、Business

CPU : Celeron900MHz 以上

メモリ: 256MB 以上 (512MB 推奨)

※Vistaの場合、メモリ2GB推奨

インターフェイス: USB2.0



“File” をクリックすると左記のようなメニューが開きます。

New Preview

ライブ画面が表示されていない時にクリックするとライブ画面が表示されます。

(通常、画面は自動表示で、このキーをクリックする必要はありません。)

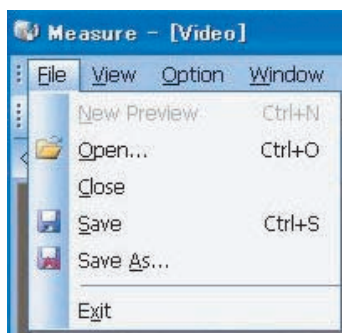
Open

任意のファイルから静止画を読み込みます。読み出し画面は再計測ができます。

読み出しは何枚でもできます。(画面上のタグが増えていきます。)



ライブ画面は左の画面の Video タグをクリックするといつでも参照できます。



Close

アクティブになっている画面を閉じることができます。

Save (* 2)

＜オートファイル機能＞

ワンクリックで自動保存できます。

この機能を使う為には初期設定が必要です。

初期設定がされていないと右のような警告文がでます。



Save As (* 1)

任意のファイル名で保存ができます。

画面上の測定値の表示 / 非表示も選択できます。

Exit

Measure ソフトを終了します。

(* 1) 「Save As」 保存について

“Save As” をクリックすると

右記のようなウインドが開きます。

File Name : 任意のファイル名を入力します。

File Path : 任意の保存場所を決めます。

Image Type : 保存形式を選択します。

Save with : 映像のみの保存の場合はすべての
チェックを外します。

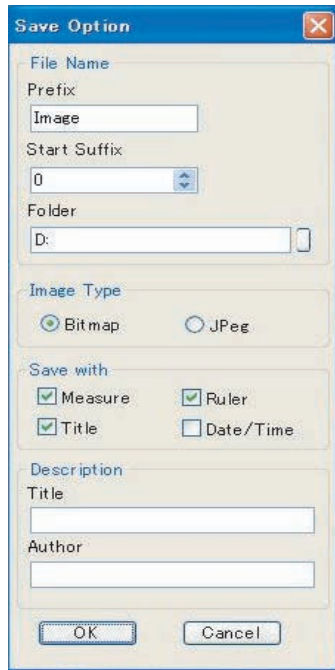
下記項目は選択により映像と
一緒に保存が可能です。

- ・ 距離測定値 (Measure) ・ 校正值 (Ruler)
- ・ タイトル (Title) ・ 日付 (Date/Time)



Description : 任意のファイルを保存する際、下記情報を一緒に保存できます。

- ・ Title (タイトル) ・ Author (作成者)
- ・ Subject (対象) ・ Comment (コメント)

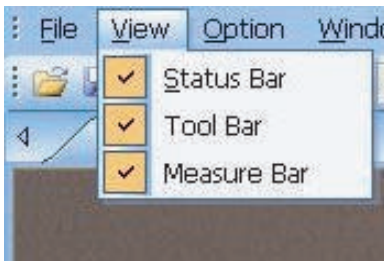


(* 2) 「Save As」 オートファイル機能について

- ・ Prefix で任意のファイル名を決めます。
- ・ Start Suffix でスタートの番号を決めます。
- ・ Folder で保存場所を決めます。

設定した後, ” Save ” をクリックすると
ワンクリックで指定したフォルダーに
保存されます。

ファイル名 + N o . のファイル名で保存されます。
保存の度に自動的に N o . が増えていきます。



Status Bar

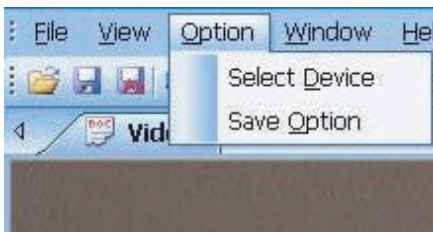
ステータスバーの表示 / 非表示の切替えができます。

Tool Bar

ツールバーの表示 / 非表示の切替えができます。

Measure Bar

距離測定バーの表示 / 非表示の切替えができます。



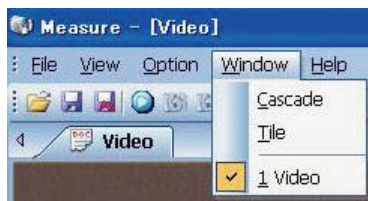
Select Device

カメラドライバーの選択ができます。

Save Option

オートファイル機能を使う為の初期設定を行ないます。

- ・ Prefix で任意のファイル名を決めます。
- ・ Start Suffix でスタートの番号を決めます。
- ・ Folder で保存場所を決めます。

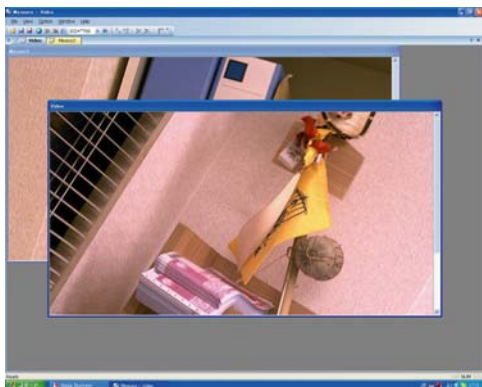


Cascade

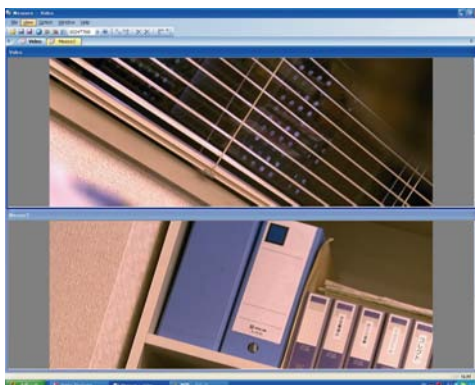
ライブ画面とキャプチャー画面を重ね表示させます。

Tile

ライブ画面とキャプチャー画面を分割表示させます。



重ね表示



分割表示

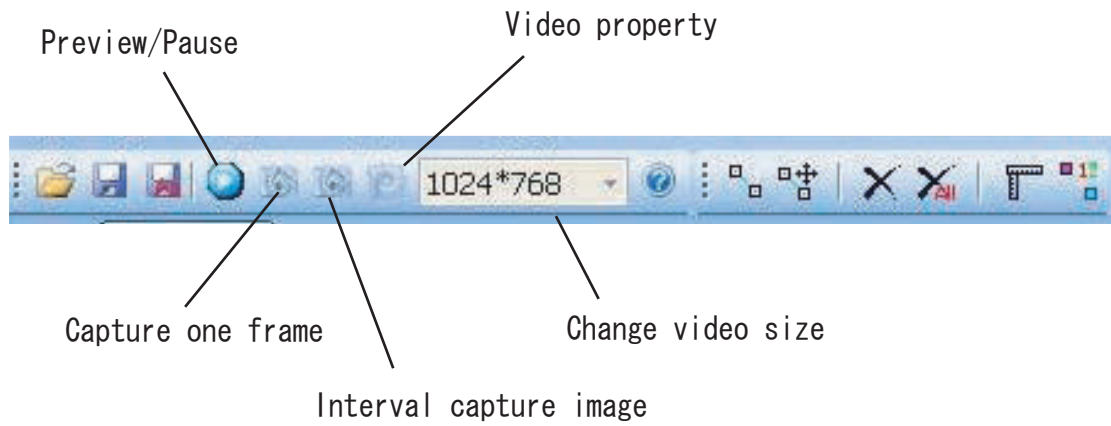


About Measure

ソフトのバージョンを表示します。

How to Use

英文の説明書が表示されます。



Preview/Pause

ライブ画面と一時停止画面の切り替えができます。

Capture one frame

画像を仮保存できます。仮保存をして、あとで見直したり、保存の為の取捨選択に便利に活用できます。また、ライブ画面との比較などにも利用できます。

Interval capture image

タイマーを使って、自動保存ができます。

スタート時間、インターバル時間、保存画像数の設定ができます。

Change video size

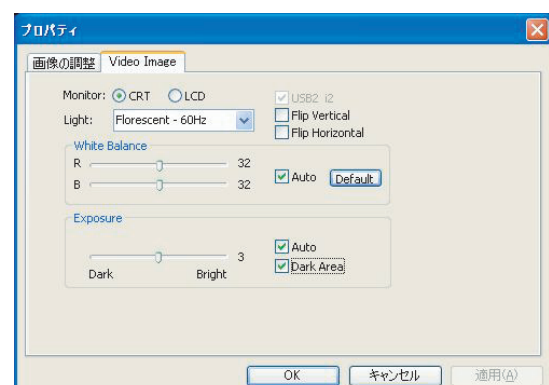
画面のサイズ（解像度）を設定できます。

Video property

色調整、コントラスト、明るさなどのビデオパラメーターの調整ができます。



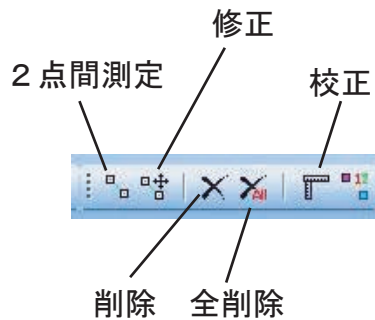
明るさ、コントラストなどが調整できます。



Exposure の調整で画面の明るい部分を基準にするか、暗い部分を基準にするかの調整ができます。

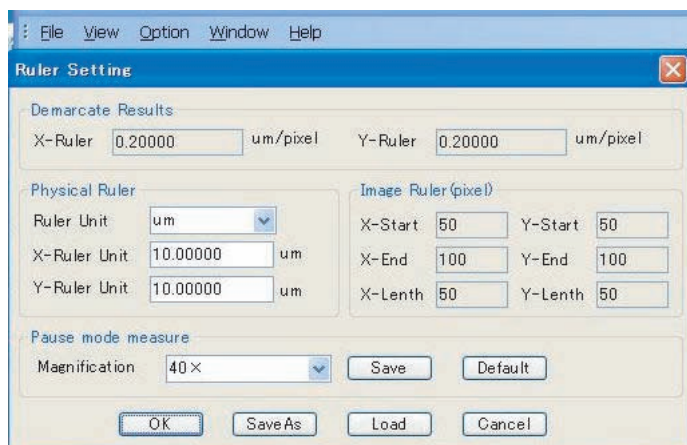
画面が全体に明るすぎる場合、また暗すぎる場合に調整ができます。

2点間距離測定



校正

“校正”をクリックすると校正用のウインドが開きます。校正值、単位を確定します。
Pause 画面か Capture 画面で行なって下さい。



Ruler Unit : 表示単位を決めます。 μm 、mm、cm、dm、inch から選択します。

X Ruler Unit : X 軸の校正值を記入します。

Y Ruler Unit : Y 軸の校正值を記入します。

Save : Magnification 機能 (*) を使用する場合のデータ値を保存します。

Default : Magnificationonn で設定した校正值をワンクリックで読み出し、反映します。
それまでに測定した値も比例して変化します。

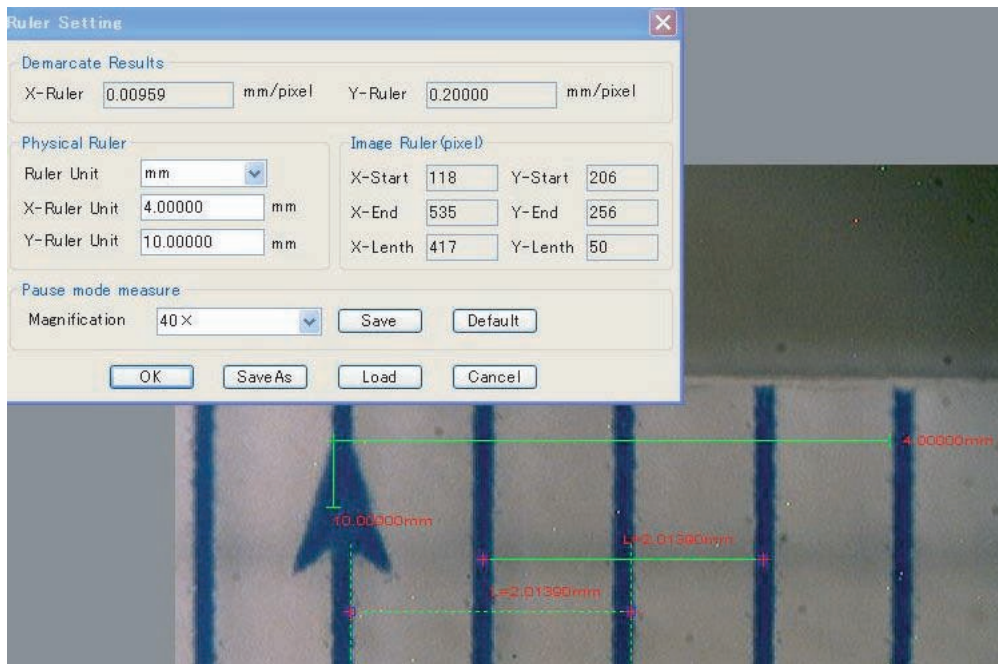
レボルバー式の顕微鏡などで同一対象物を観察する場合などに便利です。

Save As : 校正值を任意のファイル名で保存できます。これで保存する場合は
Magnification で保存する場合と異なり、保存数に制限はありません。

Load : 保存した校正值を読み出し、利用することができます。

OK : 校正值を確定させます。

* Magnification 機能は任意の 5 つの校正值を保存して、ワンクリックで読み出し、画面に反映する機能です。頻繁に校正值を変える場合に便利な機能です。
使用しない場合は特に設定する必要はありません。



校正

“校正”をクリックすると校正用のウインドが開きます。

同時に画面上にX軸、Y軸に校正ラインが表示します。このラインの端をドラック&ドロップすると任意の長さに変わります。

基準となるスケールを映し出した状態でラインの端とクロス部をスケールの目盛上に動かし、その時の長さをX-Ruler Unit、Y-Ruler Unitそれぞれに入力します。

この状態で“OK”をクリックすると校正完了です。

この値を保存する場合は“Save As”で保存できます。

“Load”キーで校正値を読み出して利用することもできます。

2点間測定

校正終了後に2点間測定のキーをクリックするとカーソルが+印になります。

測定したい個所の端でドラックしてそのまま別の端まで移動させドロップします。

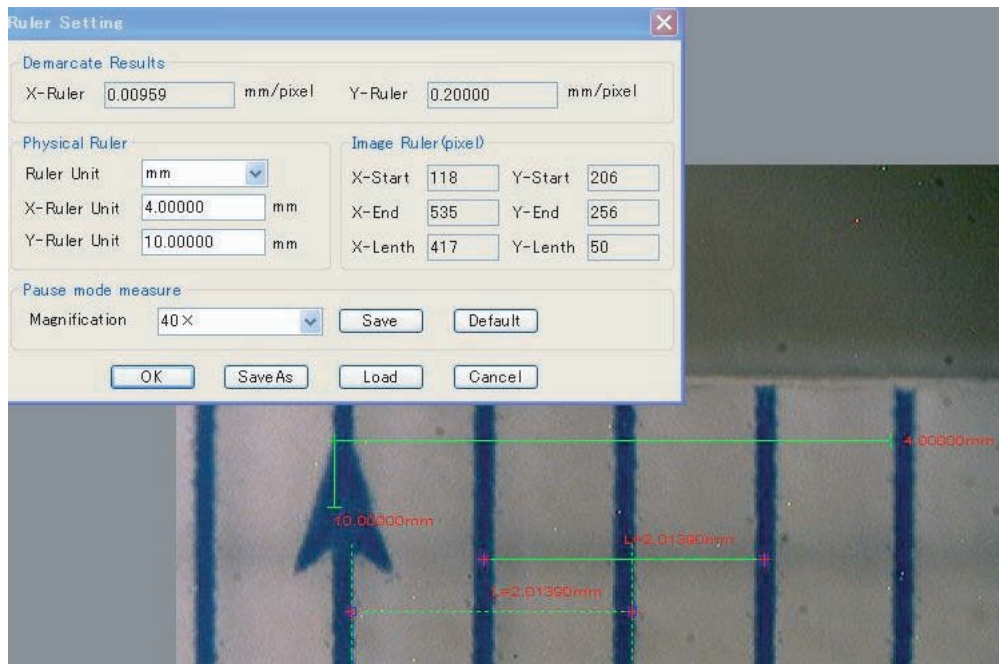
これで2点間距離が測定できます。

修正、削除

修正 : 修正キーをクリックしたのち測定の終了した端にカーソルを合わせるとラインが点線となり修正が可能となります。

削除 : 一部削除キーをクリックした後、カーソルを消したい計測ラインの端に合わせてクリックするとそのラインのみが削除できます。

全削除 : 全削除をクリックすると測定ラインが全て削除できます。



Manification

頻繁に切り替え、使用する校正値を5つまで保存し、ワンクリックで読み出し、画面に反映することができます。それまで測定していた距離測定値も連動して変化します。レボルバー式の顕微鏡などで使うと便利です。

<設定>

保存ファイル名 10X, 20X, 40X, 60X, 100X から1つを選択します。

校正をした後、“Save” をクリックして“OK” をクリックします。

画面に反映されると同時に選んだファイルにデータが保存されます。

同じ操作を繰り返し、必要な校正値を保存します。

<使い方>

必要なファイル名を選択し、“Default” をクリックすると校正値が反映されます。

切替える場合はファイルを選びなおして、“Default” をクリックするだけです。それまで測定した値も連動して変化します。

* 10X, 20X, 40X, 60X, 100X のファイル名に意味は無く、任意の値が入力できます。

但し、ファイル名は変更できません。ファイル名を任意にしたい場合は“Save As” をご利用下さい。

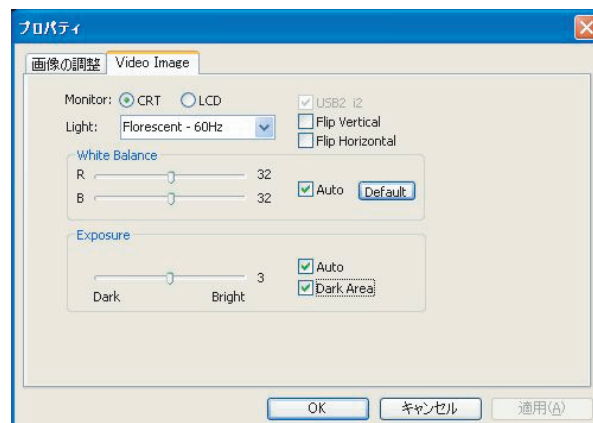
カメラの調整について

カメラのビデオプロパティ調整を行なって下さい。
対象物によって見え方が大きく異なる場合があります。



Video property

ビデオプロパティをクリックして、Video Image のタブをオープンにすると
下記のようなウインドが開きます。



White Balance は通常は Auto にして下さい。

色調整をしたい場合はチェックを外し、R と B のスライダーを
動かして調整して下さい。

Exposure の調整で画面の明るい部分を基準にするか、
暗い部分を基準にするかの調整ができます。

対象物が全体に明るすぎる場合、また暗すぎる場合に調整ができます。